令和6年度事業報告

放課後等デイサービスえがお

基本方針に対する達成状況	児童が放課後、休日を安心して過ごす居場所つくりのために児童各自の障害特性を理解して家庭、学校を中心とした関係機関と連携を深めて支援することができた。各専門職職員が自身の知識を用いて児童の最善の利益、健康維持、発達を育成することができた。
重点項目に対する達成状況	法改正対応ために「体制づくり」「研修」「チェック体制」「記録」の見直し、強化を図った。特に内部研修では職員が他職員に研修する機会を設けることで理解を深めることができた。子どもの個性を理解して無理なく発達を促し職員は児童の代弁者となるよう本人意思決定ができる環境設定を工夫した。地域への拡充として品川区の重症心身障害児放課後等デイサービス、児童発達支援との連絡会を中心となり執り行った。
稼働目標に対する達成状況	稼働目標の1090人に対して940人の利用者だったため稼働率目標に至らなかったが、前年度より延べ利用人数は30人ほど増えた。達成率は4月87.8%、5月84.4%、6月85.5%、7月94.4%、8月89%、9月81.1%、10月89%、11月76.7%、12月91.1%、1月84.4%、2月82.2%、3月100%長期休業日は達成率も高い傾向となる。
予算執行状況	年度途中に業務委託費の追加があり大きく予算超過が発生した。又、車両事故による代車レンタル代、給油費用の高騰で車両の予算超過があった。その他は全体として概ね計画通りに予算執行することができた。
事業およびサービス目標に対する達成状況	児童一人ひとりの発達特性に合わせ5領域をもとに個別支援計画書を児童発達支援管理責任者をはじめとする各専門職が連携して立案、実行することができた。健康管理では医療職を中心的に安全管理・感染症対策を徹底した。療育的支援において保育士、理学療法士がコミュニケーション支援、感覚統合、身体的機能維持、発達を目的にしたリハビリ活動を行い各児童の成長が見られた。社会参加として季節の行事や散歩時の地域交流、法人周年行事にも参加した。この法人行事参加においては送迎時防災意識を高める事につながった。生活支援では基本的生活場面での支援、食事支援は嘱託医や学校、家庭と連携して嚥下機能促進、食形態を個別対応を行った。保護者支援では定期的なモニタリングを通して情報共有をする。保護者会では活動報告、保護者同士の繋がりを持てる場所作りを行った。長期休み中の負担となる弁当作りを軽減できるよう配食サービスをスタートさせた。
その他事業計画に対する達成状況	

月平均稼働

月	定員	稼働目標	稼働実績	備考欄
4月	5名	90人	79人	
5月	5名	90人	76人	
6月	5名	90人	77人	
7月	5名	90人	85人	
8月	5名	100人	89人	
9月	5名	90人	73人	
10月	5名	90人	81人	
11月	5名	90人	69人	
12月	5名	90人	82人	
1月	5名	90人	76人	
2月	5名	90人	74人	
3月	5名	90人	90人	

利用者別の内訳（人）

月	城南（小学部）	品川（小学部）	城南（中等部）	品川（中等部）	城南（高等部）	品川（高等部）			合計
4月	34	32	0	0	13	0			79
5月	34	30	0	0	12	0			76
6月	35	32	0	0	10	0			77
7月	38	37	0	0	10	0			85
8月	40	37	0	0	12	0			89
9月	38	28	0	0	7	0			73
10月	40	28	0	0	13	0			81
11月	30	29	0	0	10	0			69
12月	39	32	0	0	11	0			82
1月	38	27	0	0	11	0			76
2月	36	27	0	0	11	0			74
3月	42	37	0	0	11	0			90

年間行事等の報告

4月	お花見、春休み、新児童慣らし預かり
5月	防災訓練
6月	制作活動、戸外活動
7月	制作活動、戸外活動
8月	夏休み、戸外活動
9月	慣らし活動
10月	制作活動
11月	品川区障害者作品展出展
12月	防災訓練、冬休み、クリスマス会
1月	冬休み、慣らし活動、保護者会
2月	制作活動、新規利用児童見学
3月	春休み、新規児童受け入れ準備